

かると

9月1日は防災の日です 家の備えは大丈夫ですか

今年には宮城県で震度6強を記録する大きな地震や梅雨前線による大雨、また、先月は台風10号の大雨により、たくさんの犠牲者がありました。

被害を最小限に抑えるには、市や各防災関係機関、事業所などがその対策や役割などを積極的に果たし協力することが大切ですが、市民のみならずも自己の生命や財産を守るには日常の心がけが大切です。

風水害の対策

登別市で起きた災害の中で大きな被害をもたらしたのが、大雨による災害です。

家庭で日ごろから十分な対応や対策を立てておきましょう。

台風や大雨に関する情報をよく聞く。

屋外のもので飛ばされそうなのは固定するか室内へ移動する。懐中電灯やラジオを用意する。浸水に備え、家財道具を高いところへ移動する。

地震の対策

家具などは金具や固定器具を使って転倒を防止しましょう。

地震が起きたら、まずテーブルなどの下にもぐり、身の安全を守る。

火の始末をする。

地震情報や津波情報を確認する。戸を開けて出口を確保する。

外へ出たら、狭い路地や壁際などに近寄らない。

山崩れ、がけ崩れ、津波に注意する。

避難するときは

火の元・ガスの元栓・ブレーカーを確認する。

徒歩で避難する。

避難するときは、電柱の倒壊や断線などにより垂れ下がった電線に電気が流れている場合があるので、近づかない。このような異常を見つけた場合は、もよりの北海道電力に連絡を。

非常用の持ち出し品を普段から用意する。



- ・非常食：米、インスタントラーメンなどの保存食品、缶詰、水筒、飲料水、粉ミルク、あめ、チョコレートなど
- ・貴重品：現金、預金通帳、印鑑など
- ・携帯ラジオや懐中電灯
- ・その他：下着などの衣類、ライター、紙おむつ、雨具など

地域を守る自主防災組織をつくってみませんか

平成7年1月に起きた阪神淡路大震災では、救出された人達の95%が自力または家族や隣人に救出されています。災害が起きた場合個人ではどうしても対処できず、隣近所の人たちの力を借りなければ

ばならないこともあります。町内会などが主体となり、地域住民が協力し合って、自発的に作る組織が自主防災組織です。自主防災組織は、日ごろ避難訓練や消火訓練などを行い、災害に強い地域づくりに努めています。

避難所を確認しましょう

市は、第1次避難所（屋外）と第2次避難所（屋内）を設定しています。

昨年4月に配布した『保存版のほりべつ市民便利帳』に掲載していますので、家族のみなさんで確認しておきましょう。



問い合わせ 総務課

(☎ 85 1 1 3 0)